

■伊沢多喜男 革新官僚背景に政界裏面で暗躍。内務官僚の権化の一方、昭和天皇の勘気を蒙るほどの政党政治。

いさわたきお

戊辰戦争終・1869＝ 長野県上伊那郡高遠町で、伊沢勝三郎(文谷)の四男に生まれる。

明治6年政変 1873＝ 4歳：

佐賀の乱・・1874＝ 5歳：名古屋市の長兄修二(当時愛知師範学校長)宅に到り、愛知師範学校附属小学校に入学。

初の民間工場1875＝ 6歳：修二の米国留学につき、高遠に戻る。

三つの内乱・1876＝ 7歳：高遠町東高遠小学校に入学。

大久保暗殺・1878＝ 9歳：修二が帰国し、父勝三郎が死去。

明治14年政変1881＝12歳：修二に招かれて上京し、東京師範学校附属小学校に入学。

秩父事件・・1884＝15歳：慶応普通部に入学。

国民之友始・1887＝18歳：慶応普通部を卒業し、大阪第三高等中学校入学。

帝国憲法発布1889＝20歳：京都の第三高等中学校に転校。

大本教・・・1892＝23歳：第三高等中学校を卒業し、帝国大学法科大学に入学。

日清戦争始・1894＝25歳：

日清戦争終・1895＝26歳：帝国大学法科大学政治学科を卒業。

白馬会・・・1896＝27歳：母多計が死去。愛知県属。文官高等試験合格。

八幡製鉄始・1897＝28歳：内務属(内務部第一課長)。山梨県参事官となる(土木局道路課勤務)。色川三郎兵衛四女とくと結婚。

子規句歌革新1898＝29歳：岐阜県参事官となる。この年、長女高誕生。

ビアノ国産化・1900＝31歳：岐阜県警部長となる。この年、次女常誕生。

教科書疑獄・1902＝33歳：福井県書記官(内務部長)となる。この年、長男龍作誕生。

日露戦争始・1904＝35歳：滋賀県書記官(内務部長)となる(同県知事安楽兼道)。この年、次女常が夭折。

日露戦争終・1905＝36歳：地方官制改正により、滋賀県事務官(第一部長)となる。第三部長兼補。

満鉄発足・・1906＝37歳：西園寺内閣成立とともに、警視・警視庁第一部長となる。

韓国反日暴動1907＝38歳：*内務大臣原敬に抜擢され、和歌山県知事となる。

伊藤博文暗殺1909＝40歳：次男紀が誕生。愛媛県知事に転じ、別子銅山四坂島精練所煙害問題を解決はじめ、鉄血知事評。

大逆事件判決1911＝42歳：三女いよが誕生。

明治天皇没・1912＝43歳：内閣交代で、一等県の新潟県知事に異動。

大正政変・・1913＝44歳：四女みやが誕生、巢鴨に住居を新築。大正政変がおき、文官分限令により休職となる。

第一次大戦始1914＝45歳：*非薩摩かつ文官試験合格者初の警視総監となる。大浦兼武と知り合い、政治家への道を踏み出す。

21ヶ条要求・1915＝46歳：警視総監を辞任。

民本主義・・1916＝47歳：貴族院議員に勅選される。

ロシア革命・1917＝48歳：長兄修二が死去。

本格政党内閣1918＝49歳：臨時国民経済調査委員となる。

ベルサイユ条約・1919＝50歳：第四一議会で「開墾助成法案」について質問演説。同成会結成。この年、長女高が結婚。

原敬首相暗殺1921＝52歳：臨時治水調査会委員となる。この年、第七回万国議院商會會議(リスボン)に列席。

水平社結成・1922＝53歳：第四五議会で「過激社会運動取締法案」に反対。

関東大震災・1923＝54歳：帝都復興院評議會議員(会長阪谷芳朗)となる。

護憲三派圧勝1924＝55歳：特別都市計画委員会委員となる。台湾総督になると、後藤新平系官僚を一掃し、植民地人事に影響力。

円本時代始・1926＝57歳：*台湾総督を辞任し、東京市長となるも、体調を崩し軽井沢で静養。瓦斯事業委員会委員・中央紙業委員会委員となる。東京市長を辞職。この前後、天皇の勘気を受けたため、以後、政党内に入らず、公的代表地位にも就かずに、政党政治を推進すべく首相の擁立や官僚人事に介入して、政界黒幕と目されるようになる。

共産党事件・1928＝59歳：第一六回総選挙に際し、新官僚を核に選挙改正会を組織。

海軍軍縮条約1930＝61歳：衆議院議員選挙改正審議会委員・鉄道會議議員。浜口遭難に際し、幣原総理大臣臨時代理実現に奔走。

満州事変・・1931＝62歳：文政審議会委員となる。この年、近衛文麿貴族院副議長実現へ向け運動。

五一五事件・1932＝63歳：米穀統制調査会委員となる。この年、長男龍作が結婚。

国際連盟脱退1933＝64歳：鉄道會議議員となる。

帝人疑獄事件1934＝65歳：米穀対策調査会委員となる。この年、三女いよが結婚。

芥川直木賞始1935＝66歳：内閣審議会委員となる。

二二六事件・1936＝67歳：議院制度調査会委員・鉄道會議議員となる。

日中戦争始・1937＝68歳：貴族院制度調査会委員となる。この年、四女みやが結婚。

健保+総動員 1938＝69歳：議院制度審議会委員。国家総動員審議会委員となると、政府原案に反対し、最も華々しい発言。

第二次大戦始1939＝70歳：鉄道會議議員となる。

大政翼賛会・1940＝71歳：枢密顧問官となる。

日米開戦・・1941＝72歳：貴族院議員を辞職。この年、二男紀が結婚。日米開戦に反対しながらも、東条内閣を支持。

・・・・・1942＝73歳：大東亜省設置案に枢密院審査委員会内で唯一政府原案に賛成。

敗戦・・・・1945＝76歳：鈴木貫太郎内閣実現に暗躍。東京巢鴨の居宅が空襲により罹災。軽井沢で敗戦を迎え、幣原内閣実現に暗躍し、旧内務省出身閣僚を通じて戦後政治に関わって行こうとするが、

新憲法施行・1947＝78歳：*第一回参議院議員選挙への出馬を勧められるも辞退後、公職追放。

三大事件・・1949＝80歳：東京第一国立病院で、_没した。